

燕市議選質問状への回答について

2022年10月17日
日本共産党 宮路敏裕

Q1.候補者のすすめたい政策について

物価高騰のなか、賃金は上がらない、年金を削り医療費をあげる。国葬と統一協会の癒着。こんなときだからこそ、防波堤として暮らしをまもる燕市政の役割が大切です。

県央基幹病院の開院で、医療や介護が充実するように、基幹病院への便利な公共交通の充実、医師の増員、余裕のある病床数を求めます。

子育て支援では、小中学校、保育園の給食費ゼロ、子ども医療費完全無料化、18歳まで国保税ゼロを実現します。

地場産業と地域経済を守るため、消費税5%減税とインボイス中止を求めます。市として独自の支援、コロナ対策の特別融資の返済猶予、中小企業を支援して最低賃金を時給1500円以上に引き上げます。地元要求として、命を守る避難所、藤の曲公民館の現地立替えを求めます。

Q2.候補者から見る燕市、市政の課題、問題点についての考えをお聞かせください。

新型コロナや物価高騰に対して、国や県任せで独自の対策や支援が弱い。県央地域の医療再編計画について、市が受け身になっていることは大きな問題点です。市民の要望や不安を正面から県や国に届け、地域医療を守る先頭にたつべきです。高すぎる国保税の押しつけ、公共施設や保育園の統廃合を進め、市民のくらしや子育てに冷たい市政になっています。

Q3.候補者から見る燕市の素晴らしい所

世界に誇れる伝統の地場産業を支える中小企業の努力と町工場の職人の技術は素晴らしいと思います。

Q4.候補者から見る国政を含む世界情勢についての考察。

岸田政権は、物価高騰に無為無策を続け、国民の批判のまよになっている旧統一協会との癒着の解明に背を向け、国葬も強行し、支持率は30%を下回っています。同時に軍事費を増大し、憲法9条を改定し海外で戦争する国、原発再稼働や新增設、高齢者の医療費2倍やさらなる介護制度の改悪など国民の平和とくらしをおびやかす政策を進めようとしていることは許されないと考えます。ロシアによるウクライナ侵略は国際法違反であり許されません。北朝鮮のミサイル発射は断固糾弾し、中国やアメリカによる覇権主義的行動に反対します。問題があっても戦争にしない、外交による解決をはかる努力が求められています。